

出雲農業振興地域整備計画変更理由書

令和7年度(2025)第3回変更

(出雲市 農林水産部 農業振興課)

(目次)

第 1	変更の理由	・・・ 1 P
第 2	変更計画の概要	・・・ 2 P
1	農用地利用計画	
	(1)農用地区域から除外する土地	
	(2)農用地区域に含める土地	・・・ 3 P
	(3)用途区分を変更する土地	
	(4)農用地利用計画変更総括表	・・・ 4 P
2	農業生産基盤の整備開発計画	
2 の 2	農用地等の保全に関する計画	
3	農業経営の規模の拡大及び農用地等農業上の効率的かつ総合的な利用の促進計画	
4	農業近代化施設の整備計画	
4 の 2	農業を担うべき者の育成等に関する施設の整備計画	
5	農業従事者の安定的な就業の促進計画	
6	生活環境施設の整備計画	
別紙 1	変更土地調書	

第1 変更の理由

(1)変更の総括的内容

出雲農業振興地域整備計画は、農業振興地域の整備に関する法律（昭和44年法律第58号）に基づいて旧出雲市及び旧斐川町において定めていた各整備計画を、市町村合併後の平成24年度に実施した農業振興地域内の基礎調査の結果により変更したものである。

本市の農業生産構造は、昭和40年代の高度経済成長に始まる社会的、経済的変革に伴い、他産業への恒常的勤務により安定的兼業農家が増加した。兼業化が加速度的に進展し、主業農家は大きく減少した。米が農業産出額の約3割を占める一方で、米の需給調整に伴う生産調整の拡大等により転作作物として麦、大豆、飼料作物等土地利用型作物やタマネギ、キャベツ、ブロッコリー等露地野菜の作付けが行われ、団地化等によりその栽培が急速に拡大した。また、より高収益経営を目指してぶどう、柿等の果樹や野菜、花卉などで施設栽培が導入されるようになり、畜産も合わせ、多様な農業生産が展開されている。地域別には、県内一の産地を誇る出雲・大社地域のぶどう、出雲地域の菊、平田地域の柿、ブロッコリー、青ねぎ、多伎地域のいちじく、湖陵地域のかんしょ、佐田地域の和牛、斐川地域の大豆、麦、ハトムギ等、それぞれの地域の特性や実情に応じた農業生産が行われている。農業産出額は近年漸次減少傾向にはあるが、県内農業産出額の1/4近くを占めており、農業は現在においても、本市の重要な基幹産業であり、国土保全や集落の維持を図るうえでも重要な役割を果たしている。

出雲市では、米や果樹の価格低迷並びに各品目において国際対応を迫られるなか、市単独の生産振興施策をすすめるなど積極的な農業振興策を展開している。

しかし、農振法施行以前から、特に平野部の農業集落において鉄道の駅や学校等の公共施設周辺にさらに集落が発展した経過があり、農業集落における恒常的な農地転用が生じている。

このため出雲市においては、経済事情の変動その他情勢の推移による農業振興地域整備計画の農用地利用計画の変更を、やむを得ず年2回行うこととしている。

今回の変更では、約651アールを農用地区域から除外し、約39アールを農用地に編入する計画である。また、農用地区域内の農地のうち、約87アールを農業用施設の敷地に転換し、農業生産の向上を図る必要が生じたことから、用途区分の変更を行う計画である。

第2 変更計画の概要

1 農用地利用計画

(1) 農用地区域から除外する土地(詳細は別紙変更土地調書のとおり)

(単位：a)

変 更 理 由	区 分	農 地				採草放牧地	混牧林地	農 業 用 施設用地	混牧林地以外 の山林原野	その他	合計
		田	畑	樹 園 地							
都市計画見直し	用途区別										
	現 況	0									0
集落介在農用地等	用途区別										
	現 況	0									0
工場事務所等用地	用途区別										
	現 況	333	279	54				3			336
公用公共用施設用地	用途区別										
	現 況	1	1								1
一 般 住 宅	用途区別										
	現 況	312	218	94				1			313
農 家 住 宅	用途区別										
	現 況	0									0
農業用施設用地	用途区別										
	現 況	0									0
植 林	用途区別										
	現 況	0									0
そ の 他 (墓地、境内地等)	用途区別										
	現 況	1	1								1
合計	用途区別										
	現 況	647	499	148	0	0	0	4	0	0	651

(2)農用地区域に含める土地(詳細は別紙変更土地調書のとおり)

(単位 : a)

変 更 理 由	区 分	農 地			採草放牧地	混 牧 林 地	農 業 用 施設用地	混牧林地以外 の山林原野	そ の 他	合 計
		田	畑	樹 園 地						
都 市 計 画 見 直 し	用途区分									
	現 況									
農工事導入その他 各種施設用地見直し	用途区分									
	現 況									
土地改良等事業計画地区	用途区分									
	現 況									
農 業 用 施 設 用 地	用途区分									
	現 況									
未 編 入 農 用 地	用途区分									
	現 況									
開 発 可 能 地	用途区分									
	現 況									
そ の 他	用途区分									
	現 況	39	31	8						39
合 計	用途区分									0
	現 況	39	31	8	0	0	0	0	0	39

(3)用途区分を変更する土地

(単位 : a)

変 更 理 由		変更前の用途区分							
		区 分	農 地	田	畑	樹 園 地	採草放牧地	混 牧 林 地	農 業 用 施設用地
変更後の用途区分	農 地	用途区分							
		現 況							
	田	用途区分							
		現 況							
	畑	用途区分							
		現 況							
	樹 園 地	用途区分							
		現 況							
	採 草 放 牧 地	用途区分							
		現 況							
	混 牧 林 地	用途区分							
		現 況							
	農 業 用 施 設 用 地	用途区分							
		現 況	87	74	13				87
	合 計	用途区分							
		現 況	87	74	13				87

(4)農用地利用計画変更総括表

(単位 ; a)

区 分	農 地												採 草 放 牧 地			混 牧 林 地			農 業 用 施 設 用 地			合 計			現況山林・原野等		
	現 況	将 来	増 減	現 況	将 来	増 減	現 況	将 来	増 減	現 況	将 来	増 減	現 況	将 来	増 減	現 況	将 来	増 減	現 況	将 来	増 減	現 況	将 来	増 減	現 況	将 来	増 減
変更前	856,726	851,691	△ 5,035	717,100	713,748	△ 3,352	82,355	80,772	△ 1,583	57,271	57,171	△ 100	7,262	7,314	52	0	0	0	6,053	6,157	104	870,041	865,162	△ 4,879	0	0	0
変更後	856,031	851,691	△ 4,340	716,558	713,748	△ 2,810	82,202	80,772	△ 1,430	57,271	57,171	△ 100	7,262	7,314	52	0	0	0	6,136	6,157	21	869,429	865,162	△ 4,267	0	0	0
増 減	△ 695	0		△ 542	0		△ 153	0		0	0		0	0		0	0		83	0		△ 612	0		0	0	

2 農業生産基盤の整備開発計画

区 域 番 号	事 業 の 種 類	付図番号	事 業 の 種 類	受 益 面 積	備 考
	変更なし				

2の2 農用地等の保全に関する計画
変更なし3 農業経営の規模の拡大及び農用地等農業上の効率的かつ総合的な利用の促進計画
変更なし

4 農業近代化施設の整備計画

区 域 番 号	事 業 の 種 類	付図番号	位 置 及 び 規 模	受 益 範 囲		利 用 組 織	備 考
				受益戸数	受益面積		
	変更なし			戸	ha		

4の2 農業を担うべき者の育成等に関する施設の整備計画

区 域 番 号	事 業 の 種 類	付図番号	位 置 及 び 規 模	受益戸数	備 考
	変更なし			戸	

5 農業従事者の安定的な就業の促進計画
変更なし

6 生活環境施設の整備計画

区 域 番 号	施 設 等 の 種 類	付図番号	位 置 及 び 規 模	受 益 戸 数	備 考
	変更なし			戸	